

有限会社豊田あぐりサービス 定款

第1章 総則

(商号)

第1条 当社は、有限会社豊田あぐりサービスと称する。

(本店の所在地)

第2条 当社は、本店を山口県下関市豊田町大字八道601番地3に置く。

(目的)

第3条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

1. 農林作業の受託並びに委託
2. 水稻、畑作の経営
3. 市民農園の開設運営
4. 地域農林特産品の調査・開発・加工及び販売
5. 実験農場の設置運営
6. 農業施設・機械の受託運営
7. 家畜飼料の生産・収集及び販売
8. 堆肥の生産販売
9. 繁殖牛及び肥育牛の飼育受託
10. 農薬・肥料及び種苗の販売
11. 園芸用花木・鑑賞用植物等園芸品及び同用品の販売
12. 食料品・酒類・清涼飲料水・嗜好飲料及び調味料の販売
13. 手芸品・工芸品及び日用品雑貨の販売
14. タバコ・郵便切手及び収入印紙の販売
15. 観光用土産品の販売
16. 飲食店の経営
17. 交流体験施設・宿泊施設の管理運営
18. その他農業公園の景観保全、維持管理
19. 前記各号に付帯する一切の事業

(公告の方法)

第4条 当社の公告は、官報に掲載してする。

第2章 株式

(発行可能株式総数)

第5条 当社の発行可能株式総数は350株とする。

(株券の不発行)

第6条 当社は、株式に係る株券を発行しない。

(株式の譲渡制限)

第7条 当社の株式を譲渡により取得することについて当社の承認を要する。

当社の株主が当社の株式を譲渡により取得する場合には当社が承認したものとみなす。

(株主名簿記載事項の変更)

第8条 当社の株式につき株主名簿記載事項の変更を請求するには、所定の請求書に株主と株式取得者が記名押印してする。

2 譲受以外の事由により株式を取得したときは、その事由を証する書面も併せて提出する。

(質権の登録および信託財産の表示)

第9条 当社の株式につき質権の設定または信託財産の表示を請求するには、所定の請求書に当事者が記名押印し提出する。

2 登録または表示の変更および抹消についても同様とする。

(手数料)

第10条 前2条に定める請求をする場合には、所定の手数料を支払わなければならない。

(基準日)

第11条 当社は、営業年度末日の最終の株主名簿に記載された議決権を有する株主を持って、その営業年度に係わる定時株主総会において権利を行使すべき株主とする。

2 前項のほか、株主または質権者として権利を行使すべき者を確定するため必要があるときは、あらかじめ公告をしてそのための基準日を定めることができる。

(株主等の氏名住所等の届け出)

第12条 株主もしくは登録質権者は、所定の書面により、その氏名・住所および印鑑を当社に届出なければならない。これらに変更があったときも同様とする。

2 届出をしない者に対しては、そのために生じた損害について、当社はその責任を負わない。

第3章 株主総会

(招集)

第13条 当社の定時株主総会は、事業年度末日の翌日から3ヶ月以内に招集し、臨時株主総会は必要に応じて招集する。

(議長)

第14条 株主総会は、社長が議長となる。

2 社長に事故あるときは、他の取締役が議長となる。

(決議の方法)

第15条 株主総会の決議は、法令または定款に別段の定めがある場合を除き、出席した議決権を行使することができる株主の議決権の過半数をもって行う。

(議決権の代理行使)

第16条 株主は、当会社の議決権を有する他の株主1名を代理人として、その議決権を行使することができる。

2 株主または代理人は、株主総会ごとに代理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(株主総会の議事録)

第17条 株主総会における議事の経過の要領およびその結果並びにその他法令に定める事項については、これを議事録に記載または記録する。

第4章 役員

(取締役及び監査役の員数)

第18条 当会社には取締役を2名以上5名以内を、監査役2名以内を置くものとする。

(取締役及び監査役の選任方法)

第19条 当会社の取締役及び監査役は株主総会において当会社の株主の中から選任する。

ただし、必要があるときは株主以外から選任することができる。

2 取締役の選任は、累積投票によらない。

(代表取締役および社長)

第20条 当会社は、代表取締役1名を取締役の互選により選定する。

代表取締役を社長とする。

(報酬及び退職慰労金)

第21条 取締役の報酬・賞与その他の職務執行の対価として当会社から受ける財産上の利益は、株主総会の決議によりこれを定める。

第5章 計算

(事業年度)

第22条 当会社の事業年度は、毎年4月1日から、翌年3月31日までの年1期とする。

(利益金の処分)

第23条 毎事業年度の利益金は、欠損を補填し、なお残余があるときは、翌年度に繰り越すものとする。

(決算及び監査)

第24条 取締役は、毎営業年度において決算し、営業報告書・財産目録・貸借対照表・損益計算書及び利益処分案又は損失処理案を作成し、株主総会に提出してその承認を受けなくてはならない。

2 前項の場合において、株主総会に提出する前に監査役の監査を受けなくてはならない。

3 監査役は、前項の監査の結果を株主総会に報告しなければならない。

(株主の閲覧)

第25条 当会社の株主は、いつでも会計の帳簿及び書類の閲覧又は謄写を請求することができる。

第6章 附 則

(規定外の事項)

第26条 この定款に規定のない事項は、すべて会社法・会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律その他の法令によるものとする。

平成 5 年 9 月 7 日 作 成

平成 13 年 9 月 3 日 改 正

平成 14 年 3 月 27 日 改 正

平成 16 年 4 月 26 日 改 正

平成 16 年 6 月 29 日 改 正

平成 17 年 5 月 26 日 改 正

平成 19 年 7 月 23 日 改 正

有限会社豊田あぐりサービス 役員名簿

平成27年8月1日現在

役 職 名	氏 名	備 考 (所 属 団 体 役 職 名)	勤 務 形 態
1 代 表 取 締 役	上 川 正 昭	下 関 市 (元 農 業 委 員 会 事 務 局 長)	常 勤
2 取 締 役	中 丸 徳 之	下 関 農 業 協 同 組 合 理 事	非 常 勤
3 取 締 役	吉 田 太 一		常 勤
4 監 査 役	山 名 俊 也	下 関 農 業 協 同 組 合 豊 田 営 農 経 済 支 部 長	非 常 勤
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

第22期(平成26年度)事業報告書、貸借対照表
及び損益計算書

有限会社 豊田あぐりサービス

下関市豊田町大字八道601番地3

第 22 期 事 業 報 告 書

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

1. 事業経過

豊田めぐりサービスは、豊田地域の農業従事者の高齢化や担い手の減少による農地の荒廃を阻止するため、第 3 セクターとして平成 5 年に設立し、当初、農作業受託を中心に事業を行ってまいりましたが、平成 18 年から下関市豊田農業公園「みのりの丘」を管理運営する指定管理者の指定を受け、公園施設の管理を通じた雇用の確保と、地域農業の一翼を担っております。

こうした趣旨を踏まえ、様々な業務を行っておりますが、地域農業を支える農作業の受託業務は、地域内に農業生産法人や営農組織の育成が推進されていることや、米価が下落傾向にあることなどから、稲作の作業受託を中心に減少の傾向にあります。

また、農業公園施設の利用者・来園者数については、施設ごとに増減はあるものの、全体的に減少の傾向にあります。これは、施設の老朽化や景観に目新しさがないことなどが一因と考えられます。

平成 26 年度の経営状況につきましては、全体として約 1,066 千円のマイナス決算となりました。経常収支については、経費の削減に努めたものの、昨年と同程度の約 900 千円のマイナス決算となりました。

要因としては、無人ヘリによる防除業務の減少をはじめ、イチゴの育苗・定植時の管理不良による「イチゴ狩り」の中止や収穫量の減少などにより、売り上げが大きく落ち込んだこと、また、受託業務や公園管理に必要な無人ヘリコプター、トラクター、飼料収穫機などの大型機械の更新による減価償却費の増加、各種助成金などの営業外収益が減少したことが、大きく影響したものとと思われます。

2. 部門別の実績

(1) 一般管理

一般管理費については、ホームページや公的広報誌等の活用などによる広告宣伝費やコピー機のリース契約の見直しなど、事務費の削減に努めました。また、消費税増税に伴う各種利用料金や作業料金の見直しを実施し、経費の適正化に努めました。しかしながら、レストランや農産物・加工品販売、各体験部門については、消費税の価格転嫁は困難な状況のまま推移しております。

人件費については、従業員 1 名が 12 月に退職したこと、パート従業員の農閑期の勤務時間の短縮、また、常勤取締役を報酬支給に切り替えるなど、人件費の削減や適正化に努めました。

更に、食彩館のレジスターを更新し、サービスの向上と仕入・販売業務の効率化を図

りました。

(2) 公園管理

公園内の景観を保つため、花壇に花の植栽や植込みの剪定、こまめな草刈りを行いました。

また、公園内施設については、短期ログハウスの外壁塗装とベランダ補修をはじめ、遊具の点検・補修などを行い、利用者へのサービス向上に努めました。

(3) 農作業受託

稲作を中心とした普通作物の作業受託状況は、農業生産法人や営農組織の増加により、減少傾向にあります。

田植えは5.3haで、前年比70%、水稻苗の配達は16,584箱(82.9ha相当)で、前年比113%、稲刈りは32.1haで、前年比92%、その他耕起・代かきは1.3haで、前年比1.1ha増となりました。

大豆は、除草、中耕作業、刈取り・乾燥調製作業を行いました。収穫作業は、黒大豆(のんたぐろ)・白大豆(サチユタカ)の合計21.1haで、前年比97%、乾燥調製については、作柄が良かったこと、オペレーターの技術向上、他地区からも積極的に受け入れたことから、33.2tの処理を行い、前年比155%となりました。

そばは、刈取り・乾燥調製作業が0.2haで、前年比15%に留まりました。要因は、転作助成金の減額による面積の減少と夏場の天候不順により、収量の減少が大きく影響したものとされます。

たまねぎは、公園内に前年同様0.3ha定植し、8tを収穫、前年比66%となりました。豊田道の駅、JA「いただきマート」、学校給食共同調理場、公園内売店で、7月から12月まで、市場価格に応じて販売しました。しかしながら、定植遅れにより小玉が多かったことと、収穫後の天候不順でかびや腐食が発生したことなどから、商品化率が低下し、販売額は548千円で、前年比50%となりました。また、たまねぎ収穫体験を行い、90組が体験されました。

受託作業は、豊浦・菊川地区を含め1.8haの畝立て作業を行いました。また、公園内に前年より0.1ha少ない0.2haの作付けを行い、生育は順調に推移しております。

(4) 無人ヘリコプター農薬散布

水稻の防除面積は、出穂前、出穂後の延べ面積257.5haで、前年比182%と大幅に増加しました。要因としては、オペレーターの養成ができたことが大きいとされます。しかしながら、市内全体の受託面積は2,624haで、前年比90%と減少しました。

また、麦・大豆については13.5haで、前年比11ha増の防除を行いました。

(5) 堆肥製造販売

施設の利用状況は、2戸1法人から原材料594tが搬入され、前年比121%となりました。しかしながら、販売量は111.8tで、前年比85%と減少しました。

要因は、農家の高齢化や米価の下落により、土づくりの意欲が減退しつつあるものと

思われます。

ミネラル散布は、トラクターの新規導入に伴い作業料金を見直したことや米価の下落などから 5.7ha で、前年比 39% となりました。

(6) ライスセンター

水稻の作況は、8月の長雨・日照不足により、早生品種は収量・品質ともに低下しました。ライスセンターの利用状況は、54戸、処理量 174.2t (33ha 相当) で、前年比 87% となりました。

(7) 温室ハウス

サラダほうれん草部門は、燃料費削減のため冬季の栽培を中止したことにより、収穫量は 5.2 トンで、前年比 77% に^{とど}まり、販売額は 2,977 千円で、前年比 87% となりました。経常赤字は 1,795 千円で、前年度より 27% 削減されました。

トマト部門は、9月定植の翌年7月まで収穫の周年栽培を行っておりますが、栽培後半の樹勢が落ちるため、苗の台木を一部変更し、誘引方法も改良した結果、樹勢の改善も見られ、収穫量は 3.4t で、前年比 117%、販売額は 2,529 千円で、前年比 108% となりました。この結果、経常赤字は 459 千円で、前年度より 35% 削減されました。

イチゴ部門は、定植床の管理ミスにより湿害が発生し、生育不良により収穫量は 0.63t で、前年比 40%、販売額は 1,000 千円で、前年比 44% となりました。経常赤字は 1,533 千円で、前年度より 17% 削減されました。

(8) 果樹

梨部門は、4月の開花・交配時の天候に恵まれて着果数が増加し、収穫量は前年度より 55% 増の 45t になりました。また、梨狩り入園者数は、過去最高の 2,813 人で、アクセスの良さがリピーターにつながったものと思われます。販売額は、梨狩りを含め、7,820 千円で、前年比 135% となりました。

ブドウ部門では、平成 22 年の雪害が尾を引いており、順次補植を行っていますが、獣害もあり対応に苦慮しています。そうした中で樹勢の回復も見られ、前年より 3 倍以上の 78kg の収穫を得ることができたことは、将来につながるものと期待しております。

桃・ブルーベリー等その他の果樹については、桃が増収したもののその他は管理不十分で減収となりました。

(9) 地域食材供給施設

物販部門の来客数は、年々増加傾向にあり、24,584 人で、前年比 104% となりました。一方、販売額については 22,236 千円で、前年比 93% に^{とど}まりました。要因は、トマトによる集客力は依然強いものの、消費税増税の影響から 1 人当たり購買単価が減少したものであると思われます。

食堂部門の来客数は、14,210 人で前年比 88% と減少したものの、販売額は 14,965 千円で、前年比約 8% 増となりました。要因は、「手打ちそば」はもちろん、ジビエや山口高原豚を使った新メニューが売り上げ増に大きく貢献したものであると思われます。

豆腐やアイスの生産販売については、前年並みで推移しておりますが、食彩館全体の販売額は37,201千円で、前年比98%となっております。

(10) 精米・製粉施設

精米製粉は、地域住民や地元加工団体などからの利用が多く、製粉は91件、処理量2.1tで、前年比77%となりました。精米は315件、処理量45.2tで、前年比104%となりました。精米・製粉全体でみると利用者数は前年比106%の406件、処理量102%の47.3tとなっております。

(11) 体験・都市農村交流

農業体験部門は、参加人数1,395人で、前年比123%、参加料収入は1,106千円で、前年比127%となりました。要因は、ホームページや公共広報誌などによる情報発信が有効的であったものと思われまます。

市民農園は、現在6区画が契約され、残り34区画の内20区画は、年度初めに草刈り、耕耘^{うん}などを行い、受け入れ態勢を整えましたが、問い合わせはあるものの、駐車場やトイレ、水汲み場がないことから、新たな利用者の確保はできませんでした。

長期宿泊施設は、4棟のうち1棟については、利用者が確保できなかったものの、宿泊者には野菜作りなど、積極的に農作業をされ、イベントにも家族で参加していただきました。

短期宿泊施設は、1棟で、8月の天候不順と、建物補修工事により利用を制限したことから、利用者数は654人で、前年比71%と減少しました。

(12) 肉用牛繁殖育成施設

現在の飼養状況は、肉用繁殖牛26頭、育成・子牛16頭の計42頭を飼育しております。今年度の市場への出荷頭数は、子牛15頭、成牛2頭の計17頭で、昨年より1頭増、販売額は7,773千円で、前年比113%となりました。要因は、出荷までの飼養管理の改善により評価が上がったこと、また、子牛不足から購買意欲が高く推移したことによるものと思われまます。

また、繁殖率も60%程度で、改善されつつあります。

3. 事業成績の推移

(単位：円)

年度 (期)	23年度 (第19期)	24年度 (第20期)	25年度 (第21期)	26年度 (第22期)
売上高	194,042,398	200,002,443	202,607,347	194,252,669
当期純利益	287,687	△11,274,446	1,954,837	△1,065,546

第 2 2 期

決 算 報 告 書

平成26年 4月 1日から

平成27年 3月31日まで

有限会社 豊田あぐりサービス

損益計算書

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上 の 他 上 業 高 指 定 管 理 業 収 入 材 料 収 入	67,287,628 115,120,041 11,845,000	194,252,669	194,252,669
II 売期 商 上 原 価 当 首 た な 卸 高 合 品 仕 業 入 価 他 期 作 業 原 計 売 勘 定 振 替 高 末 上 総 卸 高 利 益	13,451,837	1,591,799 13,451,837 143,306,563 158,350,199 609,186 1,019,409	156,721,604 37,531,065
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 業 務 一 般 管 理 費 営 業 費 損 失		39,251,775	39,251,775 1,720,710
IV 営 業 外 収 益 受 取 配 当 金 入		2,009 780 3,167,130	3,169,919
V 営 業 外 費 用 支 払 利 息 割 引 料 失		500,589 1,848,666	2,349,255
経 常 損 失			900,046
VI 特 別 利 益 貸 倒 引 当 金 戻 入		17,000	17,000
VII 特 別 損 失		0	0
税 引 前 当 期 純 損 失 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 損 失		182,500	883,046 182,500 1,065,546

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
給 与	14,320,952
旅 費	1,587,450
廣 告	67,827
容 器	1,419,628
支 払	23,414
役 員	4,715,200
事 務	1,822,789
従 業	599,999
法 定	4,448,288
福 利	169,302
減 価	336,596
地 代	1,105,050
事 務	546,852
通 信	864,645
租 税	2,775,160
備 品	922,653
貸 倒	7,000
雑 費	3,518,970
合 計	39,251,775

たな卸資産の計算内訳

平成27年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	645,220
製 品	585,088
仔 牛 育 成	2,107,116
原 材	5,967,832
仕 掛 品 (半 成 品)	456,917
貯 蔵 品	276,872
合 計	10,039,045

作業原価報告書

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

(単位：円)

科 目		金 額
I 材 期 材 合 期 当	料 棚 卸 費	
	首 材 料 仕 入 高	6,300,653
	材 料 仕 入 高	46,469,976
	計	52,770,629
末 期 当	材 料 棚 卸 高	5,967,832
	材 料 高	46,802,797
II 勞 雇 当	務 人 務 費	
	用 期 勞 務 費	18,794,623
III 經 作 電 水 燃 荷 減 保 機 保 借 雜 當 期 當 期 合 期 當	業 委 託 費	48,700,368
	電 力 費	6,999,257
	水 道 料 費	56,599
	燃 料 運 賃 費	5,409,832
	荷 造 價 運 賃 費	246,273
	減 価 償 却 費	6,707,407
	保 修 費	6,816,348
	機 械 賃 借 料	427,713
	保 險 料	1,018,323
	借 入 料	49,000
	雜 費	1,132,050
	當 期 經 費	77,563,170
	當 期 總 作 業 費	143,160,590
	期 首 仕 掛 品 た な 卸 高	3,197,777
	合 計	146,358,367
期 末 仕 掛 品 た な 卸 高	3,051,804	
當 期 作 業 原 価	143,306,563	

株主資本等変動計算書

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

平成26年 4月 1日から
平成27年 3月31日まで

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資 本 金	当期首残高		15,300,000
	当期変動額		0
	当期末残高		15,300,000
2. 利 益 剰 余 金			
(1) その他利益剰余金	当期首残高		50,000
別 途 積 立 金	当期変動額		0
	当期末残高		50,000
繰越利益剰余金			
	当期首残高		△ 5,817,451
	当期変動額		
	当期純損失	△ 1,065,546	△ 1,065,546
	当期末残高		△ 6,882,997
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		△ 5,767,451
	当期変動額		
	当期純損失	△ 1,065,546	△ 1,065,546
	当期末残高		△ 6,832,997
株主資本合計			
	当期首残高		9,532,549
	当期変動額		
	当期純損失	△ 1,065,546	△ 1,065,546
	当期末残高		8,467,003
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
純資産の部合計			
	当期首残高		9,532,549
	当期変動額		
	当期純損失	△ 1,065,546	△ 1,065,546
	当期末残高		8,467,003

第22期 収支決算内訳書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

部門別	収入			支出		
	予算額	決算額	摘要	予算額	決算額	摘要
総管理	7,324,000	8,737,803		21,800,000	22,592,557	
指定管理業務		6,747,940	指定管理料 6,745,000 施設利用料等 2,940		8,130,382	指定管理経費 8,130,382
自主事業		1,989,863	自販機雑入等 1,989,863		14,462,169	人件費等 14,462,169
農業委託	14,500,000	14,537,637		11,000,000	11,021,274	
指定管理業務						
自主事業		14,537,637	水稻作業 8,073,894 大豆等作業 6,463,743		11,021,274	水稻経費 3,434,576 大豆等経費 7,586,698
農産物農薬散布	104,000,000	95,011,570		93,000,000	86,943,806	
指定管理業務						
自主事業		95,011,570	農薬散布作業 95,011,570		86,943,806	農薬散布経費 86,943,806
堆肥センター	3,450,000	2,321,600		4,100,000	3,860,818	
指定管理業務		602,940	指定管理料 300,000 施設利用料 302,940		2,015,116	指定管理経費 2,015,116
自主事業		1,718,660	堆肥販売等 1,718,660		1,845,702	堆肥製造等経費 1,845,702
ライスセンター	9,200,000	7,517,380		5,800,000	4,629,630	
指定管理業務		6,009,406	施設利用料 6,009,406		2,916,971	指定管理経費 2,916,971
自主事業		1,507,974	運搬・資材費等 1,507,974		1,762,659	運搬・資材費等 1,762,659
温室ハウス	9,500,000	6,505,726		12,800,000	10,293,230	
指定管理業務						
自主事業		6,505,726	サラダほうれん草 6,505,726 イチゴ・トマト		10,293,230	農産物生産経費 10,293,230
果樹	7,200,000	7,883,644		5,700,000	6,198,162	
指定管理業務						
自主事業		7,883,644	梨・ブドウ等 7,883,644		6,198,162	農産物生産経費 6,198,162
地域食材供給施設	33,150,000	37,201,248		36,200,000	38,753,763	
指定管理業務					402,974	指定管理経費 402,974
自主事業		37,201,248	竹膳 14,965,079 物販・アイス 22,236,169		33,350,789	竹膳経費 13,253,883 物販経費 20,096,906
米・粟粉施設	1,550,000	1,272,024		1,250,000	1,119,403	
指定管理業務		1,272,024	指定管理料 100,000 施設利用料 1,172,024		1,119,403	指定管理経費 1,119,403
自主事業						
体験・都市農林交流	5,800,000	5,163,992		6,100,000	6,070,429	
指定管理業務		3,830,752	指定管理料 2,000,000 施設利用料等 1,830,752		2,844,917	指定管理経費 2,844,917
自主事業		1,333,240	体験料等 1,333,240		3,225,512	体験等経費 3,225,512
肉用牛繁殖販売施設	6,500,000	8,520,859		9,000,000	9,189,208	
指定管理業務		100,000	指定管理料 100,000		87,091	指定管理経費 87,091
自主事業		8,520,859	子牛販売等 8,520,859		9,102,117	肉用牛飼養経費 9,102,117
田園空間博物館施設	2,660,000	2,649,105		2,600,000	2,765,860	
指定管理業務		2,649,105	指定管理料 2,600,000 施設利用料 49,105		2,765,860	指定管理経費 2,765,860
自主事業						
合計	209,934,000	197,422,588		209,350,000	198,488,134	
指定管理業務		21,212,167	指定管理料 11,845,000 施設利用料等 9,367,167		20,282,714	指定管理経費 20,282,714
自主事業		176,210,421	自主事業収入 176,210,421		178,205,420	自主事業経費 178,205,420

利益金処分

I	当期純利益	△ 1,065,546 円
II	前期繰越利益剰余金	△ 5,817,451 円
III	次期繰越利益剰余金	△ 6,882,997 円

平成27年 5月20日

有限会社豊田あぐりサービス
代表取締役 上川正昭



監 査 報 告 書

有限会社 豊田あぐりサービス
代表取締役 上 川 正 昭 様

有限会社 豊田あぐりサービス の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第22期事業年度の貸借対照表、損益計算書及び会計帳簿は、定款に従い財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

平成27年5月18日

有限会社 豊田あぐりサービス
監査役 山 名 俊 也

第23期(平成27年度)事業計画及び収支計画書

有限会社 豊田あぐりサービス

下関市豊田町大字八道601番地3

第 23 期 事 業 計 画 書

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

1. 計画の概要

本年度は、経常経費の一層の削減をはじめ、各施設を活用した農畜産物の生産や販売力の向上と不採算部門の縮小を含め、経営の効率化と安定した経営体質の確立に向けて努力してまいります。

以下、各部門について今年度の取り組み計画をお示しします。

2. 各部門の計画

(1) 一般管理

- ①人事異動により、各部門の業務分担と責任体制を見直し、各業務の円滑化と効率化に努める。
- ②コスト意識を徹底し、資材・機械等の購入をはじめ、業務の委託等について、競争原理を基本に、経費の削減に努める。
- ③各種体験、レストラン・物販部門など、消費増税に伴う価格転嫁の方法を検討する。
- ④各種農業機械や設備の管理体制を見直し、保守・点検を徹底して機械・設備の保全に努める。
- ⑤各部門間の連絡を密にして各情報を共有するとともに、「報告・連絡・相談」(ほうれんそう)を徹底し、組織の在り方と責任感の醸成に努める。
- ⑥オペレーターの資質向上と安全性の確保のため、積極的に研修・講習会を活用する。

(2) 公園管理

- ①気持ちよく公園で家族が遊び、自然と触れ合えるよう、花木・花の植栽に努める。
- ②定期的に除草、剪定を行う。
- ③トイレの清掃と施設の安全点検の徹底を図る。

(3) 農作業受託

- ①稲作については、豊田地域を中心に各種作業受託を進める。
- ②大豆については、収穫・乾燥調製作業受託を中心に、他地区からの作業受託も積極的に受け入れる。また、適期刈取りを円滑に行うため、各生産団体との事前調整を十分に行う。

③そばについては、収穫・乾燥調製作業が中心であるが、食彩館、体験業務においても必要なことから、公園内での栽培を拡大するとともに、作業受託も積極的に対応する。

(4) たまねぎ

定植機や収穫調製機は、平成22年度に導入しており、作業受託が積極的に行えるよう、関係機関・団体と十分調整する。また、公園内にも収穫体験用、出荷用として前年並みの栽培を行うが、労力配分と出荷体制を考え、早生・中生・晩生を作付けする。その他、貯蔵によるたまねぎの劣化を回避するため早期出荷に努める。

(5) 無人ヘリコプター農薬散布

昨年、オペレーターを2名養成し、今年は1名のオペレーターを養成することから、他地域を含め実施面積の拡大に努める。また、水稻だけでなく普通作物全般についても、豊田地域を中心に防除面積の拡大に努める。

(6) 堆肥製造販売

- ①畜産農家の減少とともに、家畜糞尿の搬入が減少しつつあり、原料確保のため関係機関・団体と協議し、営業活動を行う。
- ②良質堆肥づくりに努めるとともに、堆肥利用についても効能・利用方法を示し、PRに努める。
- ③堆肥袋詰め設備の補修を行い、作業の効率化を図る。

(7) ライスセンター

- ①大豆については、作業受託部門と連携し適期刈取りにより、搬入水分を低く抑え、燃料費の削減に努める。
- ②作業の安全性の確保と労働配分の適正化を図る。

(8) 温室ハウス

①サラダほうれん草

・施設の補修が必要なため、本年度は栽培を休止する。

②トマト

・人気品種の「フルティカ」の栽培後半の樹勢確保のため、苗の台木の検討と肥培管理等について、メーカーや県農林事務所と連携を密にし、品質の平準化と生産量の増加に努めるとともに、ブランド化など有利販売の方法も検討する。

③イチゴ

・昨年の反省を踏まえ、育苗から本ぼ定植の管理を徹底する。

・県推奨品種「かおり野」について、品種特性を十分に発揮させるため、基本技術を実践を行う。また、年内出荷により有利販売を図るとともに、イチゴ狩りを休園させることがないよう生産量の向上を図る。

・商品化できないイチゴの有効活用を図るため、食彩館や加工体験部門と連携し活

用方法を検討する。

(9) 果樹

①梨

- ・4月の開花期には不順な天候であったが、その後の好天で着果数は持ち直した。今後は、小玉にならないよう管理を徹底し、前年並みの収量と「なし狩り」来場者の確保に努める。

②ぶどう

- ・補植はほぼ終了した。今後は、獣害と湿害に注意し初期生育に努める。平成22年の雪害による被害樹も回復してきており、前年度以上の収穫量を目指す。

③桃・すもも・ブルーベリー

- ・桃・すももは、木が大きくなっており、前年度以上の収穫量を目指す。また、カラスや他の鳥類被害が多く、対策を検討する。
- ・ブルーベリーは、木が小さく、安定した生産は望めないが、食彩館と連携し有効活用を図る。

(10) 地域食材供給施設

平成25年4月、「みのりの丘ジビエセンター」がオープンしたことにより、新たな食材・加工品の開発や、園内での野菜生産を拡充して品揃えの充実を図り、新たな集客に努める。

(11) 精米・製粉施設

新規利用者の確保のため、利用者の意見を十分に把握し、利用者の要望に沿えるよう一層努力する。

(12) 体験・都市農村交流

公園内の農畜産物を活用した「ジャム作り」や「ウインナー作り」など体験メニューの開発とPRに努め、農業体験者の拡大を図る。また、体験料の見直しや他の部門とのセット体験などについても検討する。

(13) 肉用牛繁殖育成施設

- ①各牛の登記書・履歴を整理し、飼養管理の基本データを集積する。
- ②畜舎の清掃に努め、定期的な清掃と保存飼料の管理を十分に行う。
- ③各成牛の繁殖計画を作成し、効率的な受精・受胎に努め、計画出荷を行う。
- ④公園内の未利用地を有効活用して、採草・放牧地を拡大し、粗飼料を確保するとともに、放牧景観を公園の魅力としてPRし、集客に努める。
- ⑤公園内の未利用雑草を粗飼料として活用する体制を整え、飼料費の削減を図る。
- ⑥農業生産法人と連携して稲わらを確保し、WCSに偏らない飼料給与体制を整える。

第23期 収支計画書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

部門別	収入			支出		
	前年度決算額	本年度予算額	摘要	前年度決算額	本年度予算額	摘要
経営管理	8,737,803	7,583,000		22,592,551	22,500,000	
指定管理業務	6,747,940	6,383,000	指定管理料 6,375,000 施設利用料等 8,000	8,130,382	8,300,000	指定管理経費 8,300,000
自主事業	1,989,863	1,200,000	自販機雑入等 1,200,000	14,462,169	14,200,000	人件費等 14,200,000
農作業受託	14,537,637	13,300,000		11,021,274	10,200,000	
指定管理業務						
自主事業	14,537,637	13,300,000	水稻作業 8,700,000 大豆等作業 4,600,000	11,021,274	10,200,000	水稻経費 4,500,000 大豆等経費 5,700,000
無人空功農薬散布	95,011,570	96,500,000		86,943,806	87,000,000	
指定管理業務						
自主事業	95,011,570	96,500,000	農薬散布作業 96,500,000	86,943,806	87,000,000	農薬散布経費 87,000,000
堆肥センター	2,321,600	2,460,000		3,860,818	4,200,000	
指定管理業務	602,940	710,000	指定管理料 400,000 施設利用料 310,000	2,015,116	2,300,000	指定管理経費 2,300,000
自主事業	1,718,660	1,750,000	堆肥販売等 1,750,000	1,845,702	1,900,000	堆肥製造等経費 1,900,000
ライスセンター	7,517,380	7,300,000		4,679,630	4,900,000	
指定管理業務	6,009,406	5,800,000	施設利用料 5,800,000	2,916,971	3,200,000	指定管理経費 3,200,000
自主事業	1,507,974	1,500,000	運搬・資材費等 1,500,000	1,762,659	1,700,000	運搬・資材費等 1,700,000
温室ハウス	6,505,726	5,600,000		10,293,230	8,000,000	
指定管理業務						
自主事業	6,505,726	5,600,000	イチゴ・トマト 5,600,000	10,293,230	8,000,000	農産物生産経費 8,000,000
果樹	7,883,644	7,900,000		6,198,162	6,200,000	
指定管理業務						
自主事業	7,883,644	7,900,000	梨・ブドウ等 7,900,000	6,198,162	6,200,000	農産物生産経費 6,200,000
地域食材供給施設	37,201,248	36,900,000		33,753,763	33,800,000	
指定管理業務				402,974	200,000	指定管理経費 200,000
自主事業	37,201,248	36,900,000	竹膳 14,800,000 物販・アイス 22,100,000	33,350,789	33,600,000	竹膳経費 13,400,000 物販経費 20,200,000
精米・製粉施設	1,272,024	1,270,000		1,119,403	1,100,000	
指定管理業務	1,272,024	1,270,000	指定管理料 370,000 施設利用料 900,000	1,119,403	1,100,000	指定管理経費 1,100,000
自主事業						
体験・都市農商交流	5,163,892	5,200,000		6,070,499	6,000,000	
指定管理業務	3,830,752	4,000,000	指定管理料 2,000,000 施設利用料等 2,000,000	2,844,917	2,800,000	指定管理経費 2,800,000
自主事業	1,333,240	1,200,000	体験料等 1,200,000	3,225,512	3,200,000	体験等経費 3,200,000
肉用牛繁殖育成施設	8,620,859	9,100,000		9,439,208	8,900,000	
指定管理業務	100,000	100,000	指定管理料 100,000	87,091	100,000	指定管理経費 100,000
自主事業	8,520,859	9,000,000	子牛販売等 9,000,000	9,102,117	8,800,000	肉用牛飼養経費 8,800,000
田園空間博物館施設	2,649,105	2,660,000		2,765,860	2,600,000	
指定管理業務	2,649,105	2,660,000	指定管理料 2,600,000 施設利用料 60,000	2,765,860	2,600,000	指定管理経費 2,600,000
自主事業						
合計	197,422,588	195,773,000		198,488,334	195,400,000	
指定管理業務	21,212,167	20,923,000	指定管理料 11,845,000 施設利用料等 9,078,000	20,282,714	20,600,000	指定管理経費 20,600,000
自主事業	176,210,421	174,850,000	自主事業収入 174,850,000	178,205,420	174,800,000	自主事業経費 174,800,000

会 社 の 概 要

(平成27年3月31日現在)

- ① 商 号 有限会社豊田あぐりサービス
- ② 本店所在地 山口県下関市豊田町大字八道601番地3
- ③ 設立年月日 平成5年10月20日
- ④ 出資者及び資本金
- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| 下 関 市 (170口) | 8,500,000円 |
| 下関農業協同組合 (120口) | 6,000,000円 |
| 株式会社 豊田ふるさとセンター
(10口) | 500,000円 |
| 新 田 正 二 (2口) | 100,000円 |
| 吉 田 太 一 (2口) | 100,000円 |
| 上 川 正 昭 (2口) | 100,000円 |
|
資 本 金 (306口) |
15,300,000円
(1口:50,000円) |
- ⑤ 取締役及び監査役
- | | |
|-------|---------|
| 代表取締役 | 上 川 正 昭 |
| 取締役 | 中 丸 徳 之 |
| 取締役 | 吉 田 太 一 |
| 監査役 | 山 名 俊 也 |

⑥ 従業員の状態

区分	従業員数 (前期比増減)	平均 年 齢	平 均 勤続年数	出 向 職員数
男性	5名 (△1名)	40歳	5年	0名
女性	2名 (0名)	53歳	9年	0名
合計	7名 (△1名)	44歳	6年	0名